

フレーズでとらえると英語はこんなに簡単
たった6つのテーブルでこんなに自由に話せる
ファンクションメソッド英会話独習テキスト

著作 ファンクションメソッド英語研究会代表
中嶋太一郎

はじめに

「中嶋太一郎さん著の本は若かりし頃、私たちが受けてきた学校の英語教育はなんだったんだ～！とつくづく思いますよ（-__-;）」

「私は長年予備校講師をしていますが、あなたのメソッドでなら中学・高校の6年間の英語教育はわずか3年で可能だと思います。しかも英語を話せるという目的にも合致するものです」

これが私が著わしてきた本に対する読者からの代表的な評価です。

英会話学習者なら紋切り型のセリフではなく、場面や状況に応じて思ったことを自由に英語で話すことが願いだと思います。今までの英語を読解や丸暗記の対象としてしか扱えない学習のあり方に対して、「話せる英語のしくみとOUTPUTを中心とした具体的学習法」について著わした本は少ないと思います。もちろんこの新たなメソッドがファンクションメソッドであることは言うまでもありません。ファンクションメソッドは「英語は英語の発想でとらえなければならぬ」という英語本来の学習法を可能にしたものです。

英語ほど合理的でシンプルなしくみでできあがっていることばはありません。その英語の回路を身につけると、英語がことばとして自然と定着・蓄積していきます。英会話学校に行っても、短期留学しても、また英語圏に住んでいてもなかなか身につけなかった英語が驚くほど簡単に身につけることができます。この本が読者にとって今後の英会話学習の強力な指針になりえると確信します。

中嶋太一郎

プロローグ

●たった6つのテーブルで自由に英語が話せる

まず目次にあげられた赤文字で記された日本語の様々な表現をご覧ください。これらのほとんどが「彼女に電話する」というキーワードを基本として、その表現展開をあげています。ここにあげられた表現は、「(ふだん)彼女に電話するよ」から「彼女に電話しなかったの?」まで38あります。おそらくこれらを見られた多くの方が、「英語でこんな表現をどうするのか?」とか「こんな表現をしたかった」いった興味を持たれると思います。しかしこれらの表現の根底を支えているのはたった6つのテーブルだと言え、誰もが驚かれると思います。それに加えてこの目次にあげられていない肯定、否定、疑問、否定疑問、そして付加疑問という表現もそれぞれのテーブルで簡単に身につけることができると思えばさらに驚かれることでしょう。

●大切なことは「彼女に電話する」という表現が基礎となって

本書では「彼女に電話する」という行為をキーワードとして展開していますが、大切なことはこれを通じてさらなる表現を身につけることができます。

「(ふだん)彼女に電話するよ」	→「(ふだん)彼女とデートするよ」
「彼女に電話したよ」	→「彼女とデートしたよ」
「彼女に電話するつもりよ」	→「彼女とデートするつもりよ」
「彼女に電話したところよ」	→「彼女とデートしたところよ」
「彼女に電話してるところよ」	→「彼女とデートしてるところよ」

略

「彼女に電話するかもよ」	→「彼女とデートするかもよ」
「彼女に電話したいよ」	→「彼女とデートしたいよ」
「必ず彼女に電話するよ」	→「必ず彼女とデートするよ」

略

have a date with her 「彼女とデートする」

●学習時間に応じて確実に語彙や表現を確実に定着・蓄積させる

文法を理解したところで英語が話せないという現実に対して、「英会話は役に立つ英文や頻繁に使われる表現などを覚えなければならない」と一足飛びに向かう英会話本も多くあります。でもセリフ覚えのように一文丸暗記をいくらしても、その情報は固定されます。つまり英語表現を身につけるといのは、学習時間に応じてファンクションフレーズと動詞フレーズをどれだけ覚えるかということにつきます。

●英語脳、英語の回路ということ

私たちは日本語を話すときに、文法を意識して話す人はいません。このことは彼らネイティブもまったく同じです。ネイティブの子供たちは学校に行くまで特に文法を教えられることはありません。しかし彼らはすでに英語を話しているのです。もちろんこのことは日本語を話す私たちも同じです。

大切なことは、彼らは文法学習によって英語脳、英語の回路を身につけたのではないということです。生まれた環境でそれは作られてきたものです。もちろん私たちがそれを初めから体験することは不可能です。しかしそれを短期間に効率的に追体験することは可能です。それは英語を特に教育文法ではなく、もう一度英語発想とはどんなものかを知ることから始まります。

●ファンクションメソッドとは

このファンクション・メソッドという英語理論は、元もと私がコンピュータを使った英会話学習ソフトを制作する過程で生まれたものです。コンピュータにはファンクション・キーというものがあります。これはある一定の機能を指示するためのキーですが、ある一定の機能をもった単語の集まり、つまり一定の主体と時制や情緒などを宣言してしまう英語の発想はこのファンクション・キーととてもよく似ています。キーを押すように、ファンクションフレーズを宣言することで様々な情報豊かな文が即時に作れます。その発想からこの理論をファンクション・メソッドと名づけました。

【本書の構成について】

本書は、「幸せよ=be happy」と「彼女に電話する=call her」という2つの動詞フレーズをキーワードとして様々な表現展開を学習していきます。

まず第1章においては「幸せよ」や「時々彼女に電話する」といった事実表現について学習します。この場合、「英会話の九九 テーブル」を基本にして英語脳・英語の回路を身につけていただきます。ここでは、時間軸として現在、過去、未来、現在完了という4つの基本時制、そして場所軸としてそれらにおける肯定、否定、疑問、否定疑問表現を展開します。

I am **happy**.

I sometimes **call her**.

第2章も事実表現ですが、「今彼女に電話している」や「彼女から電話をもらう」といった進行形や受身形についての学習です。ここでも「英会話の九九 テーブル」を基本にして、ここでも、時間軸として現在、過去、未来、現在完了という4つの基本時制、そして場所軸としてそれらにおける肯定、否定、疑問、否定疑問表現を展開します。

I am **calling her**.

I am **called by her**.

第3章においては、「幸せになりたい」「あなたに幸せになってもらいたい」や「彼女に電話したい」「あなたに彼女に電話してもらいたい」など、展開型ファンクションフレーズへと表現を拡大します。展開型ファンクションフレーズとは、「英会話の九九テーブル」を基礎にして、さらに応用的な表現展開となります。

I want to **be happy**.

I want to **call her**.

I want you to **be happy**.

I want you to **call her**.

第4章においては、「彼女に電話していい？」の「許可」や「彼女に電話してくれない？」の「依頼」など応用・目的別にした14の展開型ファンクションフレーズを展開します。

Can I **call her**?

Will you (please) **call her**?

目次

はじめに

プロローグ

3

- たった6つのテーブルで自由に英語が話せる
- 大切なことは「彼女に電話する」という表現が基礎となって
- 学習時間に応じて確実に語彙や表現を確実に定着・蓄積させる
- 英語脳、英語の回路ということ
- ファンクションメソッドとは

第1章 英語発想の土台を築く基本型ファンクションフレーズ

11

第1節 英語発想の土台となる6つのテーブル!!

12

現在の「存在」を表す 【英会話の九九・テーブルNo.1】

16

過去の「存在」を表す 【英会話の九九・テーブルNo.2】

17

現在の「行為」などを表す 【英会話の九九・テーブルNo.3】

18

過去の「行為」などを表す 【英会話の九九・テーブルNo.4】

19

未来の「存在」「行為」などを表す【英会話の九九・テーブルNo.5】

20

現在完了の「存在」「行為」などを表す【英会話の九九・テーブルNo.6】

21

第2節 be動詞の基本型ファンクションフレーズ

22

～現在形、過去形、未来形、現在完了形への転換～

その1 現在の「存在」を表す be動詞の現在形

25

(今、ふだん) 幸せよ

その2 過去の「存在」を表す be動詞の過去形

47

幸せだったよ

その3 未来の「存在」を表す be動詞の未来形

56

幸せになるよ

その4 現在完了の「存在」を表す be動詞の現在完了形

64

ずっと幸せにしてるよ

その5 There is [are] ～、Here is [are] ～の文の英語発想

71

～現在形、過去形、未来形、現在完了形の転換～

事故が起こる、事故が起こったよ、事故が起こるよ、事故が起こってるよ

第3節 一般動詞の基本型ファンクションフレーズ	77
～現在形、過去形、未来形、現在完了形への転換～	
その1 現在の「行為」などを表す 一般動詞の現在形	78
(ふだん) 彼女に電話するよ	
その2 過去の「行為」などを表す 一般動詞の過去形	85
彼女に電話したよ	
その3 未来の「行為」などを表す 一般動詞の未来形	91
彼女に電話するつもりよ	
その4 現在完了の「行為」などを表す 一般動詞の現在完了形	97
彼女に電話したところよ	
第2章 動的表現を支える基本型ファンクションフレーズ	107
第1節 ネイティブは進行形の文をどうアウトプットするか	108
その1 現在の行為の進行状態を表す 現在進行形	111
彼女に電話してるところよ	
その2 過去の行為の進行状態を表す 過去進行形	117
彼女に電話していたよ	
その3 未来の行為の進行状態を表す 未来進行形	123
彼女に電話しているでしょう	
その4 現在完了の行為の進行状態を表す 現在完了進行形	128
ずっと彼女に電話してるよ	
第2節 ネイティブは受身形の文をどうアウトプットするか	133
その1 現在の受身状態を表す 現在受身形	136
(ふだん) 彼女から電話をもらうよ	
その2 過去の受身状態を表す 過去受身形	141
彼女から電話をもらったよ	
その3 未来の受身状態を表す 未来受身形	146
彼女から電話をもらっているでしょう	
その4 現在完了の受身状態を表す 現在完了受身形	151
彼女から電話をもらったところよ	

その5 現在と過去の受身進行状態を表す 現在受身進行形・過去受身進行形 <i>彼女から電話をもらっているところよ、もらっていたところだったよ</i>	156
第3章 パターンで身につける展開型ファンクションフレーズ	159
～たった3つの動詞フレーズのパターンをあやつる英語発想～	
第1節 原形動詞フレーズを導く展開型ファンクションフレーズ	162
その1 will, can, must, mayタイプとの結びつき <i>彼女に電話をしなくちゃ</i>	162
その2 want to, hope to, wish toタイプとの結びつき <i>彼女に電話をしたいよ</i>	173
その3 be sure to, be ready to, be willing toタイプとの結び付き <i>必ず彼女に電話をするよ</i>	182
その4 It is easy to, It is hard toタイプとの結びつき <i>彼女に電話できないよ</i> <i>私に電話してくれてありがとう</i>	186
その5 want you to, tell you toタイプとの結びつき <i>あなたに彼女に電話をしてもらいたいよ</i>	192
その6 have you, let you, make youタイプとの結びつき <i>あなたに彼女に電話をしてもらうよ</i>	196
第2節 ～ing形動詞フレーズを導く展開型ファンクションフレーズ	201
その1 like, enjoy, finishタイプとの結びつき <i>(ふだん) 楽しく彼女に電話をするよ</i>	202
その2 be good at, be fond ofタイプとの結びつき <i>彼女に電話をする気にならないよ</i>	206
その3 see you, hear youタイプとの結びつき <i>あなたが彼女に電話をするのを見たよ</i>	208
第3節 ～ed形動詞フレーズを導く展開型ファンクションフレーズ	211
その1 have you, get youタイプとの結びつき <i>あなたが彼女から電話をもらっているのを見たよ</i>	211

第4章 みるみる英語が自由に話せる感動の体験を	214
～応用・目的別12の展開型ファンクションフレーズ～	
その1 許可を表すファンクションフレーズ	216
彼女に電話をしてもよろしいですか？	
その2 依頼を表すファンクションフレーズ	220
彼女に電話をしていただけますか？	
その3 意見・意向を表すファンクションフレーズ	225
彼女に電話をしましょうか？	
その4 意図・決意を表すファンクションフレーズ	229
彼女に電話をするつもりですか？	
その5 示唆・助言を表すファンクションフレーズ	233
彼女に電話をした方がいいですか？	
その6 提案・勧誘を表すファンクションフレーズ	238
彼女に電話をしましょうか？	
その7 義務・必要性を表すファンクションフレーズ	242
彼女に電話をしなければなりませんか？	
その8 必要・当然を表すファンクションフレーズ	246
当然彼女に電話すべきよ	
その9 可能性を表すファンクションフレーズ	250
彼女に電話をするかもしれません	
その10 能力を表すファンクションフレーズ	253
彼女に電話をすることができますか？	
その11 推測を表すファンクションフレーズ	257
たぶん彼女に電話をするつもりです	
その12 予想・見込みを表すファンクションフレーズ	261
彼女に電話をするらしいよ	
その13 欲求・希望・願望・期待を表すファンクションフレーズ	264
彼女に電話をしたいですか？	
その14 過去における希望・願望・期待を表すファンクションフレーズ	267
彼女に電話をしたかったですか？	

[参考]

- 頻度を表す表現 270
- 現在形に用いる時を表す表現 271
- 過去形に用いる時を表す表現 272
- 未来形に用いる時を表す表現 273
- 現在完了形に用いる時を表す表現 274
 - (1) 完了・結果を表すもの
 - (2) 経験を表すもの
 - (3) 継続を表すもの

第1章

英語発想の土台を築くベーシックファンクションフレーズ!

第1節 英語発想の土台となる6つのテーブル!

～ネイティブは現在、過去、未来、そして現在完了という4つの時制
感覚で英語を話す～

●各【英会話の九九・テーブル】は集積回路

6つのテーブルには基礎的なファンクションフレーズが集積され、英語で表現展開する際の集積回路のような働きをします。ここには「be動詞の疑問文はbe動詞を主語の前に出して作る」とか、「一般動詞現在形の疑問文は主語に応じて主語の前にDo, Doesをつけて作る」といった説明はありません。各テーブルにあげたファンクションフレーズをそのまま暗記することで様々な表現を展開することができるし、そうしなければならないとも言えます。ネイティブの子供たちのように英語の回路や英語脳を持つための、いわば「当たり前」のフレーズをまとめたものです。

●【英会話の九九・テーブル No.1】を例にして

ここでは【英会話の九九・テーブル No.1】を例にして説明しますが、この回路は他のテーブルでも同じしくみです。

- (1) 主体(主語)の展開
- (2) 肯定発想、否定発想、疑問発想、否定疑問発想、付加疑問発想への展開
- (3) 付加疑問文とShort Answerへの展開
- (4) 時制などへの展開

●一つのテーブルで、肯定形、否定形、疑問形、否定疑問形、付加疑問形が表現できる

この「現在の「存在」を表すテーブル (be動詞・現在形)」【英会話の九九・テーブル No.1】をご覧ください。以下の手順に従って英文を生産してください。

これが、(1)の主体(主語)の展開と、(2)の肯定発想、否定発想、疑問発想、否定疑問発想、付加疑問発想への展開となります。

(手順1) 肯定表現をする

[GROUP A] にあげられたI am, We are, You areなどのファンクションフレーズにそのままhappyを続けて文を生産してください。「私は幸せだ」「私たちは幸せだ」「あなたは幸せだね」といった肯定表現がとっさにできます。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| (1) I am happy. | (5) He is happy. |
| (2) We are happy. | (6) She is happy. |
| (3) You are happy. | (7) They are happy. |
| (4) You are happy. | |

(手順2) 否定表現をする

[GROUP B] にあげられたI'm not, We aren't, You aren'tなどのファンクションフレーズにそのままhappyを続けて文を生産してください。「私は幸せじゃない」「私たちは幸せじゃない」「あなたは幸せじゃないね」といった否定表現ができます。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| (1) I'm happy. | (5) He isn't happy. |
| (2) We aren't happy. | (6) She isn't happy. |
| (3) You aren't happy. | (7) They aren't happy. |
| (4) You aren't happy. | |

(手順3) 疑問表現をする

[GROUP C] にあげられたAre you, Are you, Is heなどのファンクションフレーズにそのままhappyを続けて文を生産してください。これは「私は幸せなの?」「あなた方は幸せなの?」「彼は幸せなの?」といった疑問表現です。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| (1) Am I happy? | (5) Is he happy? |
| (2) Are we happy? | (6) Is she happy? |
| (3) Are you happy? | (7) Are they happy? |
| (4) Are you happy? | |

(手順4) 否定疑問表現をする

[GROUP D] にあげられたAren't you, Aren't you, Isn't heなどのフア

ンクシヨンプレーズにそのままhappyを続けて文を生産してください。これは「私は幸せじゃないの?」「あなた方は幸せじゃないの?」「彼は幸せじゃないの?」といった否定疑問表現です。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| (1) Am I not happy? | (5) Isn't he happy? |
| (2) Aren't we happy? | (6) Isn't she happy? |
| (3) Aren't you happy? | (7) Aren't they happy? |
| (4) Aren't you happy? | |

● Am I ~?、Am I not ~?のファンクションフレーズについて

Am I happy?やAm I not happy?といった表現をおかしく感じられる人がいるかもしれません。つまり「私、幸せなの?」「私、幸せじゃないの?」と聞かれると、自分のことなのにどうして幸せなのか、幸せではないかをわからないのか、ということです。でも「幸せ」といったものは本人にはわからない場合もあります。

このファンクションフレーズは、そんなことも吟味して使うことが必要です。

Am I pretty?	私、可愛い?
Am I not pretty?	私、可愛くないの?
Am I wrong?	私、間違ってるの?
Am I not wrong?	私、間違っていないの?
Who am I?	私は誰?
Where am I?	ここはどこなの?
Where are we going?	私たち、(これから)どこへ行くの?
What will I be?	私は、(将来)どうなるの?

(手順5) 付加疑問表現をする

付加疑問文は、「あなた、幸せなんでしょう?」とか「あなた、幸せじゃないんでしょう?」などと念を押したり、「あなた、幸せなのね」とか「あなた、幸せじゃないのね」相手の同意を求めるような表現です。

肯定表現の【Group A】のフレーズに対しては否定疑問表現の【Group D】のフレーズが、また否定表現の【Group B】のフレーズに対して疑問表現の【Group A】のフレーズが対応していることを確認してください。

You are **happy**, aren't you?

あなた、幸せなんだね

He is **happy**, isn't he?

彼は、幸せなんだね

You aren't **happy**, are you?

あなた、幸せじゃないのね

He isn't **happy**, is he?

彼は、幸せじゃないのね

(手順6) Short Answer表現をする

ファンクションフレーズはShort Answerにもなります。これらのテーブルの【Group C】や【Group D】にあげた9つのフレーズそれぞれに対して、【Group A】と【Group B】のフレーズがShort Answerの関係になっていることを確認してください。

例【英会話の九九・テーブルNo.1】

例【Group C】 Are you **happy**? Is he **happy**?

【Group A】 Yes, I am. Yes, he is.

例【Group D】 Aren't you **happy**? Isn't he **happy**?

【Group B】 No, I'm not. No, he isn't

●時制などへの展開

過去形への展開では、「過去の「存在」を表すテーブル (be動詞・過去形)」【英会話の九九・テーブル No.2】をご覧ください。この**happy**をそれぞれのフレーズに続けると、「幸せだったよ」と過去での表現になります。ただし、ここに例としてあげたのは主語をIとHeとする肯定形の表現です。

例 I was **happy**. He was **happy**.

未来形への展開では、「【英会話の九九・テーブル No.5】をご覧ください。**be happy**をそれぞれのフレーズに続けると、「幸せになるよ」と未来形での表現になります。

例 I will **be happy**. He will **be happy**.

現在完了形への展開では、「【英会話の九九・テーブル No.6】をご覧ください。**been happy**をそれぞれのフレーズに続けると、「ずっと幸せにしてるよ」現在完了形での表現になります。

例 I have **been happy**. He has **been happy**.

【英会話の九九・テーブル No.1】

● 現在の「存在」を表すテーブル (be動詞・現在形)

[GROUP A] 肯定表現 ～は～です	[GROUP B] 否定表現 ～は～ではない	[GROUP C] 疑問表現 ～は～なの？	[GROUP D] 否定疑問表現 ～は～でないの？
(1) I am	I'm not	Am I	Am I not
(2) We are※	We aren't	Are we	Aren't we
(3) You are	You aren't	Are you	Aren't you
(4) You are※	You aren't	Are you	Aren't you
(5) He is	He isn't	Is he	Isn't he
(6) She is	She isn't	Is she	Isn't she
(7) They are※	They aren't	Are they	Aren't they
(8) It is	It isn't	Is it	Isn't it
(9) They are※	They aren't	Are they	Aren't they

【短縮形について】

I'm not = I am not, aren't = are not, isn't = is not
 am, are, isは現在の「存在」を表しますが、日本語訳は典型的な訳語です。様々な意味になることは用例で確認してください。

I am **in hospital**.

私は入院しています

I am **in trouble**.

私は困っています